

まちに、夢を描こう。



2016年3月期 第2四半期決算説明会

西日本鉄道株式会社(9031)

2015年11月13日(金)

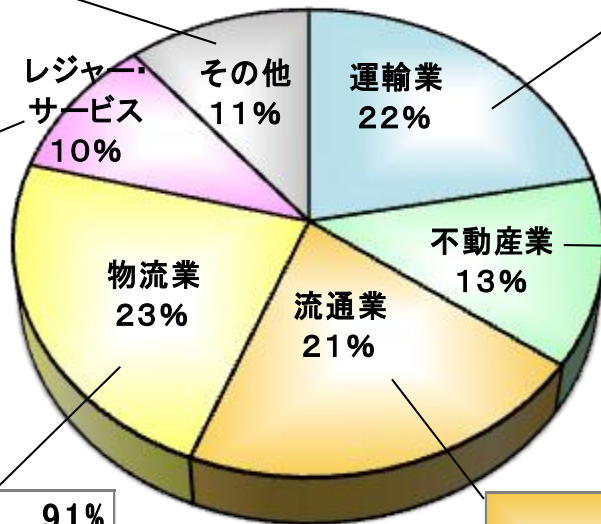
連結営業概況(2016年3月期第2四半期)

◎ グループ会社 : 子会社77社、関連会社9社

◎ 特長 ◇ 福岡を事業基盤とする生活関連企業…運輸業、不動産業、流通業など

◇ 西鉄ブランドを基盤に域外展開…国際物流事業、ホテル事業など

連結営業収益 176,612 百万円



その他	車両整備	61%
	建設	29%
	他	10%
営業収益	21,351 百万円	

運輸業	鉄道	24%
	バス	67%
	他	9%
営業収益	43,544 百万円	

レジャー・サービス業	ホテル	47%
	旅行	9%
	他	44%
営業収益	18,980 百万円	

不動産業	賃貸	53%
	住宅	26%
	他	21%
営業収益	24,492 百万円	

物流業	国際物流	91%
	国内物流	9%
営業収益	44,482 百万円	

流通業	ストア	100%
営業収益	39,865 百万円	

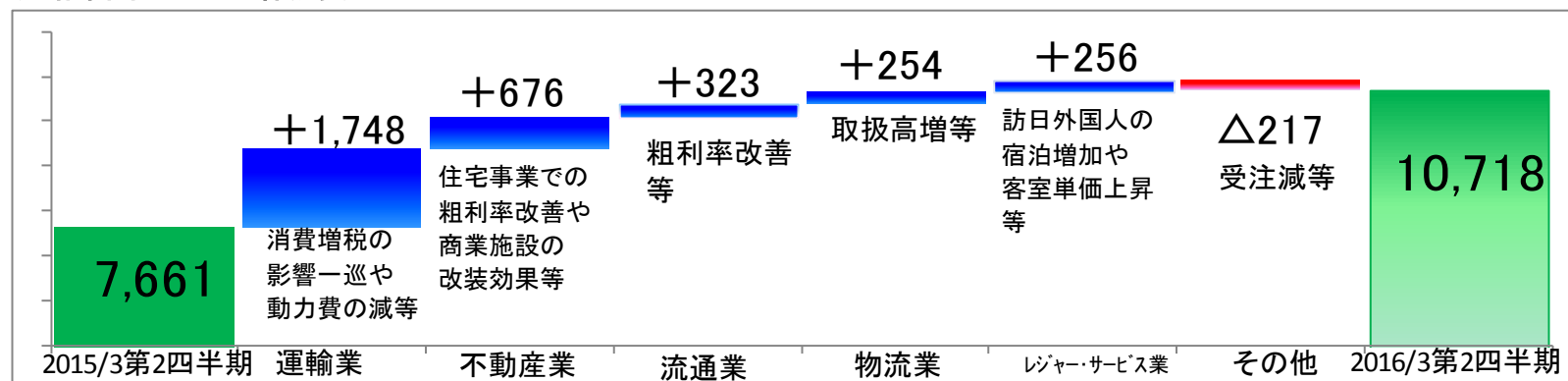
連結損益の実績(全業)

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	176,612	171,005	5,607	3.3%
営業利益	10,718	7,661	3,057	39.9%
経常利益	10,410	7,318	3,091	42.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,569	4,871	1,697	34.8%
減価償却費	9,182	9,050	132	1.5%
EBITDA	19,992	16,806	3,185	19.0%
設備投資	8,156	15,307	△7,150	△46.7%

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費(営業費)

連結営業利益の増減要因



まちに、夢を描こう。



セグメント別損益状況

1. 運輸業

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	43,544	41,832	1,712	4.1%
営業利益	3,794	2,045	1,748	85.5%
減価償却費	4,141	4,016	124	3.1%
EBITDA	7,935	6,062	1,873	30.9%
設備投資	3,334	2,479	854	34.5%

➤ 営業収益の主な増減要因

- 鉄道事業 … 消費増税の影響一巡
- バス事業 … 消費増税の影響一巡、貸切収入の増加

➤ 営業利益の主な増減要因

- 増収に加え、動力費の減少等により増益

～ 鉄道事業（運輸業の内訳）～

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	11,271	11,015	255	2.3%
営業利益	1,544	1,454	89	6.2%

(百万円、千人)

旅客収入	10,497	10,206	290	2.8%
旅客人員	53,977	52,298	1,679	3.2%
（定期外）	23,862	22,846	1,016	4.4%
（定期）	30,115	29,452	663	2.3%

➤ 天神大牟田線旅客人員 +3.3%

● 定期外 +5.0%

● 定期 +2.1%

➤ 貝塚線旅客人員 +3.2%

● 定期外 +4.1%

● 定期 +2.4%

～ バス事業（運輸業の内訳）～

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	31,985	31,092	(注) 892	2.9%
営業利益	2,158	639	1,518	237.3%

(注)バス事業内取引を除くと1,030百万円(3.7%増)の増収です。

乗合収入	24,774	24,365	409	1.7%
貸切・特定収入	2,739	2,312	426	18.5%

(千人)

乗合旅客人員	137,754	136,641	1,113	0.8%
(定期外)	75,720	75,335	385	0.5%
一般	72,144	71,848	296	0.4%
高速	3,576	3,487	89	2.6%
(定期)	62,034	61,306	728	1.2%

2. 不動産業

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	24,492	24,961	△469	△1.9%
営業利益	4,407	3,730	676	18.1%

減価償却費	2,952	2,904	47	1.6%
EBITDA	7,423	6,702	720	10.8%
設備投資	2,288	5,437	△3,148	△57.9%

➤ 営業収益の主な増減要因

- 住宅事業 … マンションの販売戸数の減

➤ 営業利益の主な増減要因

- 賃貸事業 … 改装効果等により増益
- 住宅事業 … 粗利率の改善等により増益

～不動産業の内訳～

《賃貸事業》

※サブセグメント名称を「不動産賃貸事業」から変更しております。

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	13,650	13,688	△38	△0.3%
営業利益	3,494	3,220	273	8.5%

《住宅事業》

※サブセグメント名称を「不動産分譲事業」から変更しております。

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	6,720	7,705	△985	△12.8%
(うち、賃貸住宅)	(460)	(324)	(135)	(41.8%)
営業利益	617	359	257	71.7%
(うち、賃貸住宅)	(133)	(94)	(38)	(40.2%)

※賃貸住宅を「賃貸事業」から「住宅事業」に変更し、前期の数値を組み替えております。

販売戸数(区画)	195	213	△18	△8.5%
マンション(戸)	76	103	△27	△26.2%
戸建(区画)	104	87	17	19.5%
リノベーション(戸)	15	23	△8	△34.8%

(百万円)

3. 流通業

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	39,865	38,750	1,114	2.9%
営業利益	247	△76	323	-
減価償却費	690	603	87	14.4%
EBITDA	962	551	410	74.5%
設備投資	1,107	1,553	△446	△28.7%

▶ 営業収益の主な増減要因

- ストア事業 … レガネットガーデン福津等の前期に建替・改装した店舗の増収
新規店舗の寄与による増収

▶ 営業利益の主な増減要因

- ストア事業 … 西鉄ストア等での粗利率改善

4. 物 流 業

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	44,482	40,367	4,115	10.2%
営業利益	1,299	1,045	254	24.3%

減価償却費	396	388	8	2.3%
EBITDA	1,696	1,434	262	18.3%
設備投資	181	499	△317	△63.6%

➤ 営業収益・営業利益の主な増減要因

- 国際物流事業 …… 海外子会社での為替変動による円換算額の増加
海運貨物の取扱高の増加

～物流業の内訳～

《 国際物流事業 》

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	44,566	40,327	4,239	10.5%
営業利益	1,157	907	249	27.5%

航空輸出(千トン)	61	65	△4	△6.5%
航空輸入(千件)	188	189	△0	△0.4%
海運輸出(千TEU)	28	25	2	10.8%
海運輸入(千TEU)	38	34	4	12.4%

※参考(上記数量の内、海外子会社取扱高)

航空輸出(千トン)	34	36	△2	△5.6%
航空輸入(千件)	131	130	1	0.8%
海運輸出(千TEU)	19	17	1	11.1%
海運輸入(千TEU)	23	21	2	10.9%

5. レジャー・サービス業

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	18,980	18,669	310	1.7%
営業利益	1,069	812	256	31.6%

減価償却費	895	988	△92	△9.4%
EBITDA	1,969	1,805	163	9.1%
設備投資	1,043	5,064	△4,020	△79.4%

➤ 営業収益・営業利益の主な増減要因

- ホテル事業 … 訪日外国人の宿泊増加、客室単価の上昇

～レジャー・サービス業の内訳～

《 ホテル事業 》 (注)ホテル事業内取引を除くと120百万円(1.6%増)の増収です。 (百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	10,640	10,515	(注) 124	1.2%
営業利益	775	430	345	80.4%

《 旅行事業 》 (百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	1,950	2,002	△51	△2.6%
営業利益	97	88	9	10.3%

《 その他レジャー・サービス業 》 (百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	9,902	9,682	219	2.3%
営業利益	337	306	31	10.3%

6. その他

(百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	増減率
営業収益	21,351	23,686	△2,335	△9.9%
営業利益	46	263	△217	△82.5%

減価償却費	417	445	△27	△6.1%
EBITDA	464	708	△244	△34.5%
設備投資	431	536	△105	△19.6%

- ▶ 営業収益・営業利益の主な増減要因
- 車両整備関連事業や建設関連事業での受注減等

・その他・・・ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業、金属リサイクル事業

連結貸借対照表

(百万円)

		2015/9月末	2015/3月末	増減
資 産	流動資産	100,830	104,505	△3,675
	固定資産	364,671	368,228	△3,557
	合計	465,501	472,734	△7,232
負 債 ・ 純 資 産	流動負債	137,478	142,757	△5,279
	固定負債	180,163	186,795	△6,631
	(有利子負債残高)	182,257	180,603	1,654
	負債合計	317,641	329,552	△11,910
	純資産合計	147,859	143,181	4,678
	合計	465,501	472,734	△7,232

➤ 資産の主な増減要因

- 受取手形及び売掛金の減
- 販売土地及び建物の増

➤ 負債の主な増減要因

- 支払手形及び買掛金の減

➤ 純資産の主な増減要因

- 親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による増

連結キャッシュ・フロー

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増 減
営 業 活 動	13,216	3,737	9,478
（税引前四半期純利益）	10,273	7,880	2,393
（減価償却費）	9,182	9,050	132
（法人税等の支払額）	△2,862	△5,327	2,465
投 資 活 動	△10,718	△15,132	4,414
（固定資産の取得）	△17,120	△19,715	2,594
財 務 活 動	△332	4,749	△5,081
（借入金・社債）	1,726	6,349	△4,622
現金等の当期末残高	30,842	22,964	7,877

まちに、夢を描こう。



2015年度 事業計画の取組み状況

(2016年3月期)

事業環境(福岡市の現状・成長可能性)

まちに、夢を描こう。



1. 福岡市の人口増加

2015年:153万人

2035年:160万人(推計)

出典:福岡市「福岡市将来人口推計について」

2. アジアの玄関口・福岡市

・2014年の外国人入国者数は過去最高の約120万人(前年比+33.0%)

・2015年上半期の外国人入国者数は前年比+64.5%

出典:九州運輸局「九州の外国人入国者数の推移について」を元に当社作成

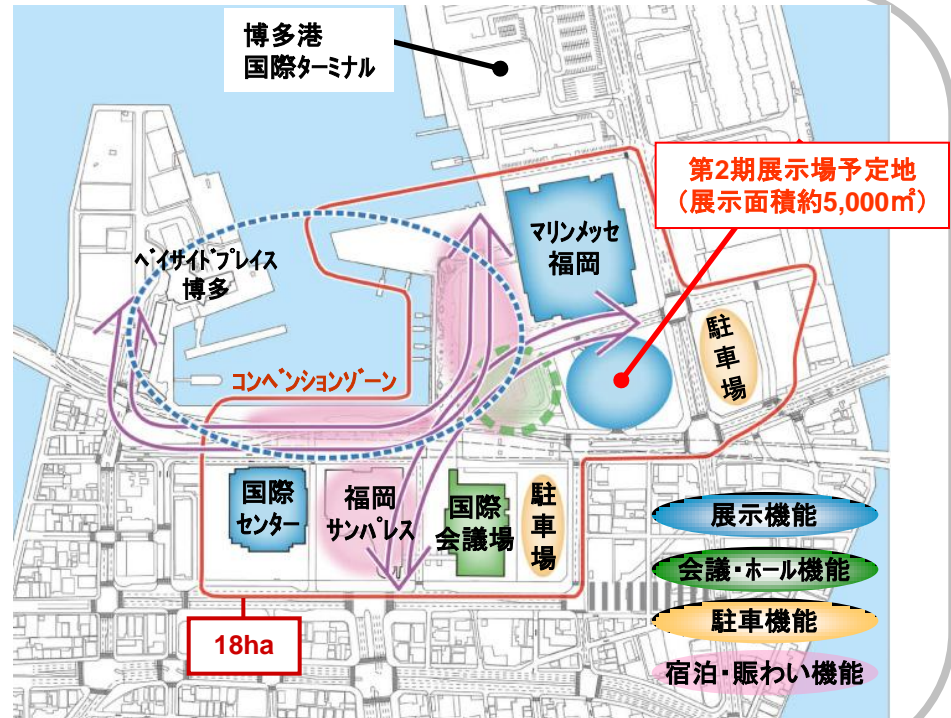
3. MICE機能強化

ウォーターフロント地区の再開発

【新たに導入される機能】

- 展示機能
(第2期展示場:2020年開館予定)
- 宿泊機能(ホテル)
- 賑わい機能(飲食店・物販店舗等)
- 歩行者専用道路(歩行者デッキ等)
⇒ 徒歩圏に一体的・機能的に配置

出典:福岡市「福岡市MICE関連施設整備方針について」を元に当社作成



機能配置図(イメージ)

事業環境(福岡市の現状・成長可能性)

まさに、夢を描こう。

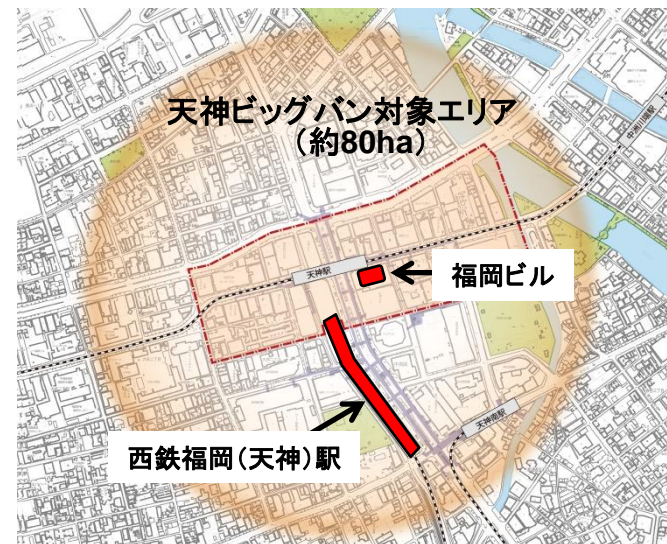


4. 福岡市主導による『天神ビッグバン』の推進

アジアの拠点都市を目指し、
都市機能の向上と雇用を創出するプロジェクト

- ・今後10年間で30棟の民間ビル建替えを誘導
延床面積 約1.7倍、雇用 約2.4倍に増加

出典:福岡市「新たな空間と雇用を創出する『天神ビッグバン』始動！」を元に当社作成

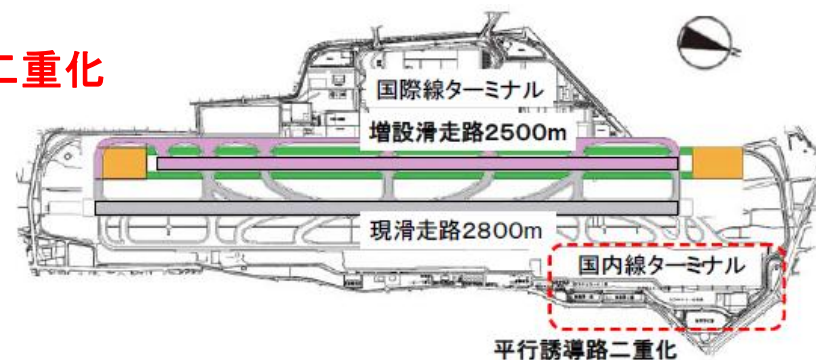


5. 福岡空港再整備

2019年度 国内線ターミナル建替え、平行誘導路二重化
(予定)

2024年度 現滑走路に並行した新滑走路を新設

出典:福岡空港運営検討協議会「福岡空港の民間委託について」



将来ビジョン2018『弛まぬ変革』

3rd Stage

第14次中期経営計画（2016～2018年度）

2nd Stage 第13次中期経営計画（2013～2015年度） 『グループ総合力の発揮による成長への挑戦』

<13次中計最終年度 数値計画>

営業利益 180億円

ROA 4.2%
(総資産営業利益率)

ROE 7.5%
(株主資本当期純利益率)

2015年度事業計画

重点テーマ

1. 収益基盤の拡大
2. チャレンジとスピードある経営の推進
3. CSR経営の推進
4. グループの未来を創る人材の育成

1st Stage

第12次中期経営計画（2010～2012年度）

重点テーマ

1. 収益基盤の拡大

まさに、夢を描こう。

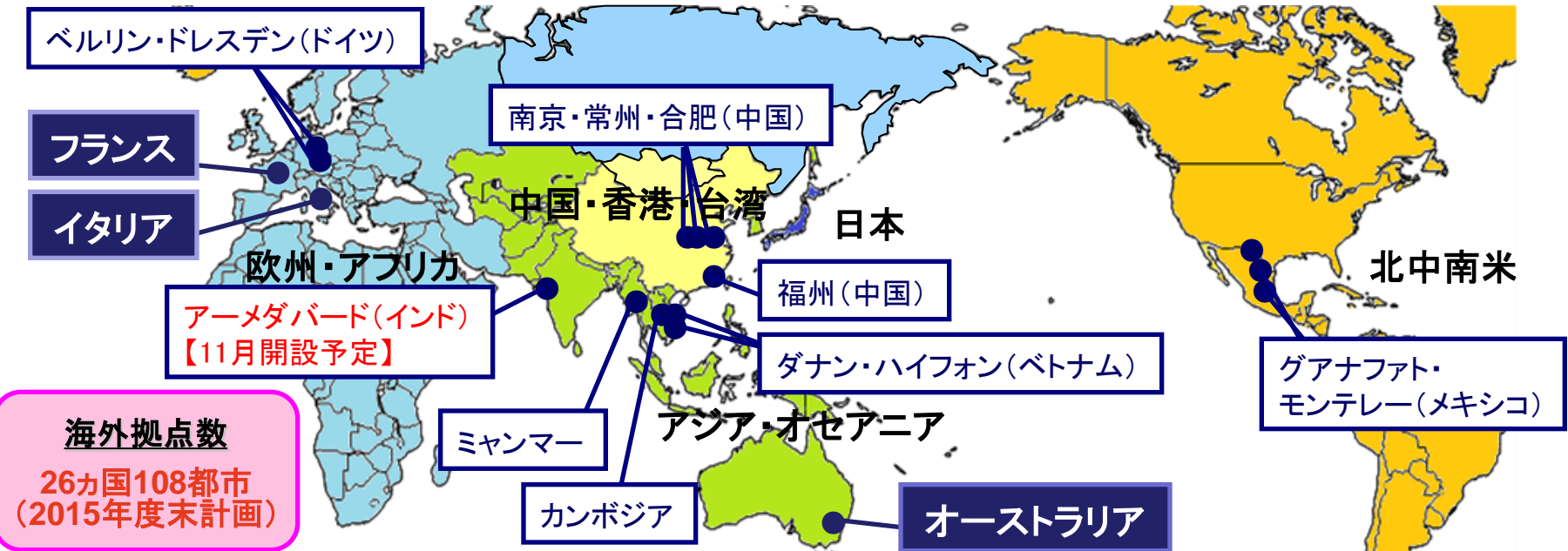


(1) 業態や事業エリアの拡大

● 国際物流事業

- ・ 海外現地法人の設立(フランス・イタリア・オーストラリア)
- ・ 支店や駐在事務所の拡大(ベトナム・メキシコ・インド・カンボジア・ミャンマーなど)
- ・ 海運事業、ロジスティクス事業の強化
- ・ AEO資格を活用した営業力の強化(2014年11月「特定保税運送者」取得)

～本事業計画期間中の海外拠点拡大計画～



海外拠点数

26カ国108都市
(2015年度末計画)

重点テーマ

1. 収益基盤の拡大

まさに、夢を描こう。



(1) 業態や事業エリアの拡大

● ホテル事業

- ・ 国内・アジア主要都市での新規出店

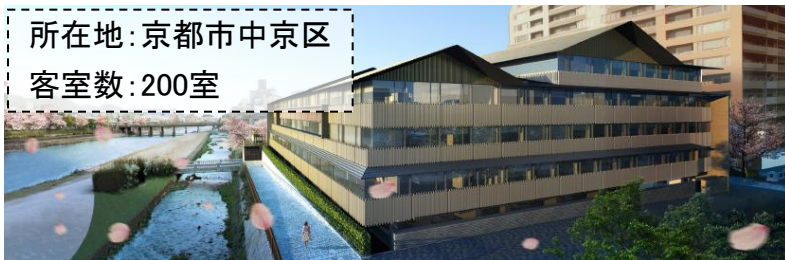
「ソラリア西鉄ホテルソウル明洞」開業(2015年9月)、京都開業準備(2016年度予定)、タイ(バンコク)へのソラリア西鉄ホテルの出店(2018年度予定)

所在地: 大韓民国ソウル(明洞)
客室数: 312室



ソラリア西鉄ホテルソウル明洞

所在地: 京都市中京区
客室数: 200室



(仮称)ソラリア西鉄ホテル京都イメージ

所在地: タイ(バンコク)
客室数: 約250室



(仮称)ソラリア西鉄ホテルバンコク イメージ

重点テーマ

1. 収益基盤の拡大

まさに、夢を描こう。



(1) 業態や事業エリアの拡大

● マンション事業

- ・ 分譲マンション事業の拡大（「アイタワー」 2016年2月竣工予定・JV）
- ・ 九州主要都市・首都圏・関西での展開
長崎市「サンリヤン茂里町」（2016年2月竣工予定）、京都市中京区での分譲マンション開発（JV）
- ・ アジアでの展開
ベトナム（ホーチミン）での分譲マンション開発（2016年7月竣工予定・JV）

所在地：福岡県福岡市東区
総戸数：285戸（西鉄持分50%）



アイタワー イメージ

所在地：長崎県長崎市梁川町
総戸数：24戸



サンリヤン茂里町 イメージ

所在地：ホーチミン市9区
総戸数：500戸（西鉄持分25%）



ベトナム・ホーチミンでの
分譲マンションイメージ

重点テーマ

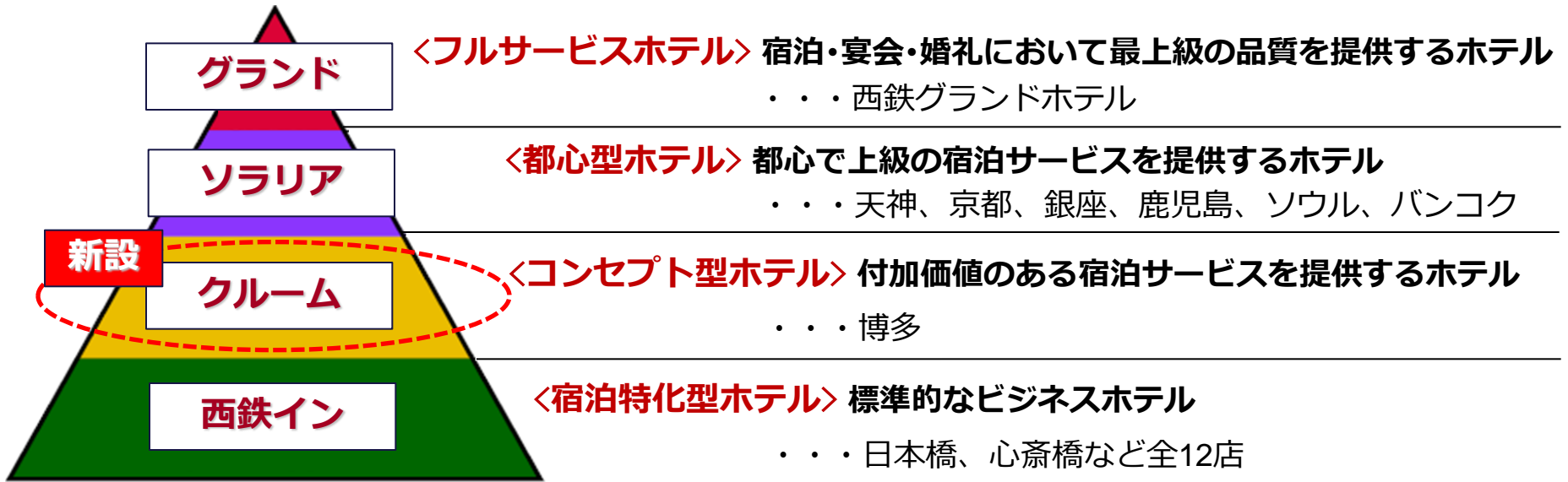
1. 収益基盤の拡大

まさに、夢を描こう。



(2)商品・サービスの競争力強化

● ブランド・業態の再整備



【西鉄ホテル クルーム 博多 概要】

- ・ラウンジ新設
- ・フロントを独立型カウンターへ
- ・客室184室のプレミアムルーム化
- ・大浴場の温泉化



西鉄ホテル クルーム 博多 イメージ(2016年3月全館リニューアルオープン予定)

重点テーマ

1. 収益基盤の拡大

まさに、夢を描こう。



(2)商品・サービスの競争力強化

● ブランド・業態の再整備

・ シニアマンション事業

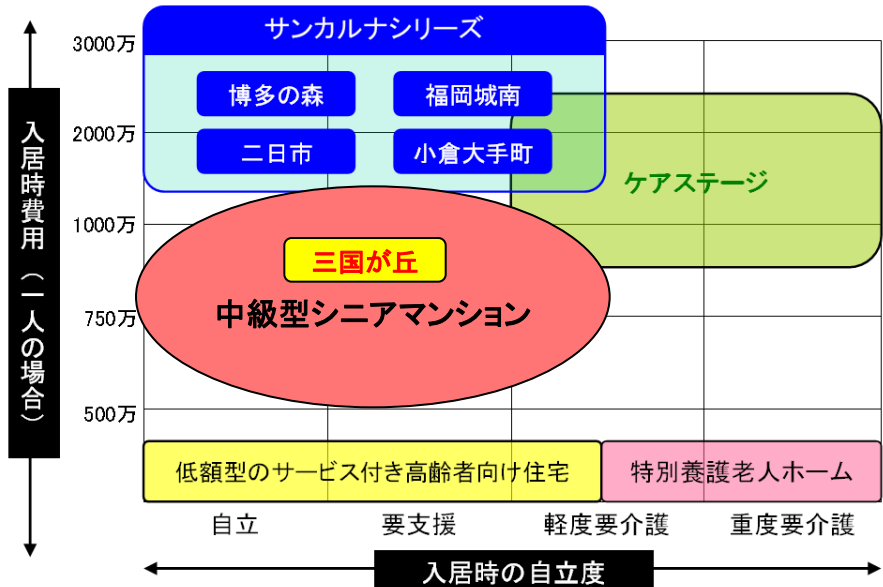
- 高級型－サンカルナシリーズ
- 中級型－新たに展開を予定(三国が丘)

・ スーパーマーケット事業

福岡地区:レガネット、レガネットマルシェ、
レガネットキュート

北九州地区:スピナマート、スピナ

シニアマンションブランディングイメージ



標準店:レガネット
売場面積:
300~500坪程度



レガネット美鈴の杜(2015年8月~)

都心周辺中型店:レガネットマルシェ
売場面積:150~200坪程度



レガネットマルシェ長住(2014年12月~)

都市型小型店:レガネットキュート
売場面積:100坪程度



レガネットキュート中洲川端(2015年7月~)

重点テーマ

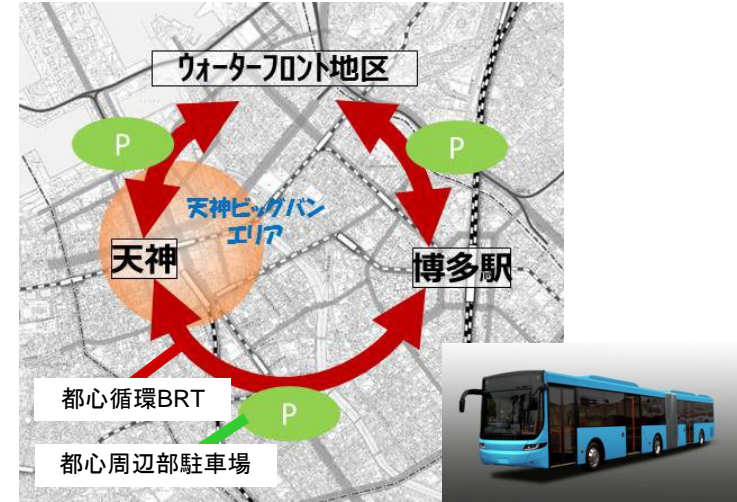
1. 収益基盤の拡大

まさに、夢を描こう。



(3) 交通サービスの利便性向上

- **自治体との連携による交通機能の確保・向上**
 - ・ 都心循環BRT(連節バス)の導入(2016年:2台)
- **バス路線の拡充**
 - ・ 太宰府ライナーバス利用者数累計約50万人突破(2015年9月)



都心循環BRT イメージ

(4) 選ばれる沿線づくりの推進

- **地域・行政との連携による沿線の活性化推進**
 - ・ 「サンメディラック飯塚」グランドオープン(2015年7月)
 - ・ 西鉄柳川駅のリニューアル完了(2015年9月)
- **JA全農との協同事業による農業振興の推進**
 - ・ (株)NJアグリサポートの設立(2015年3月)
- **柳川観光列車の運行**
 - ・ 柳川観光列車「水都」運行開始(2015年10月)



柳川観光列車「水都」

重点テーマ

1. 収益基盤の拡大

まちに、夢を描こう。



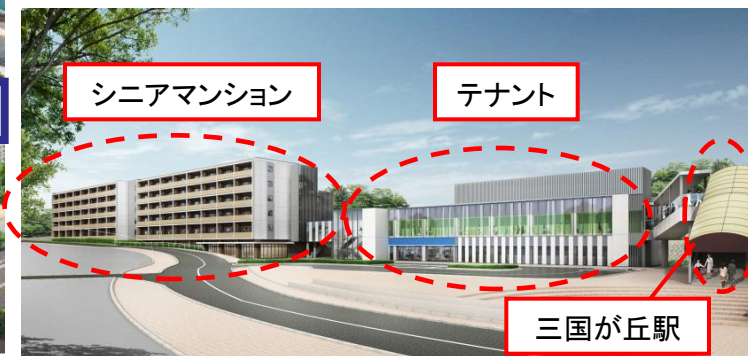
(4) 選ばれる沿線づくりの推進

● 三国が丘あすみプロジェクトの推進

- ・戸建住宅(255区画)の建設
- ・分譲マンション「サンリヤン三国が丘駅前」の建設
- ・シニアマンションの建設、医療関連施設の誘致
- ・クラブハウス、農園、散策路などの設置
- ・三国が丘駅改修、パーク&ライド駐車場整備



三国が丘あすみプロジェクト イメージ



シニアマンション イメージ

重点テーマ

1. 収益基盤の拡大

まさに、夢を描こう。



(5) 天神エリアのプレゼンスアップに向けた取組み推進

● 商業施設のポテンシャルの最大化

- ・ ソラリアプラザ大規模改造 グランドオープン(2015年4月)
- ・ 天神コア リニューアルオープン(2015年9月)

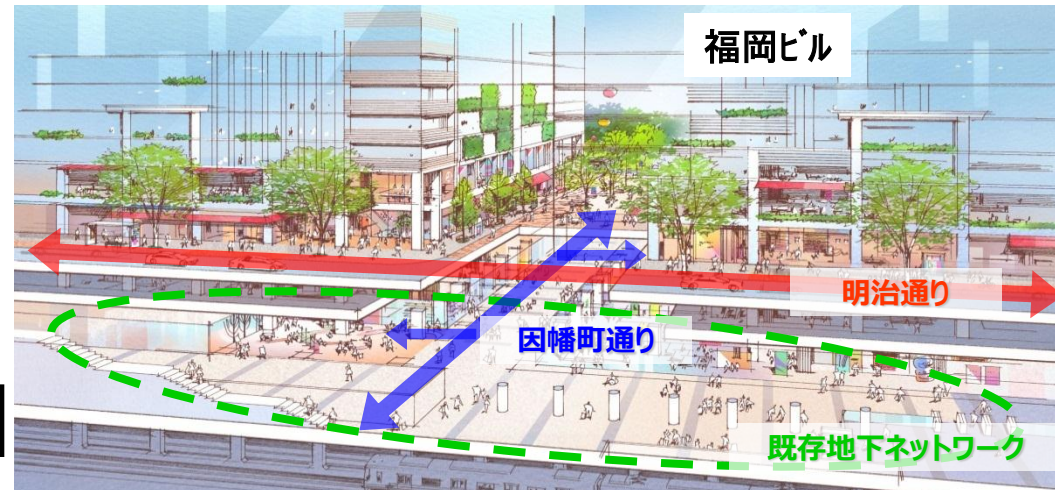
● 明治通り再開発の推進

- ・ 天神1丁目南ブロック再開発の推進
地区整備計画の都市計画決定(2015年9月)、
因幡町通り地下通路整備計画など
- ・ 福岡ビル建て替えプロジェクトの推進

天神コア 地下街接続口(リニューアル後)



明治通り地区 位置図



因幡町通り地下通路イメージ(福岡市ホームページより作成)

重点テーマ

1. 収益基盤の拡大

まさに、夢を描こう。



(6) インバウンドの取組み強化

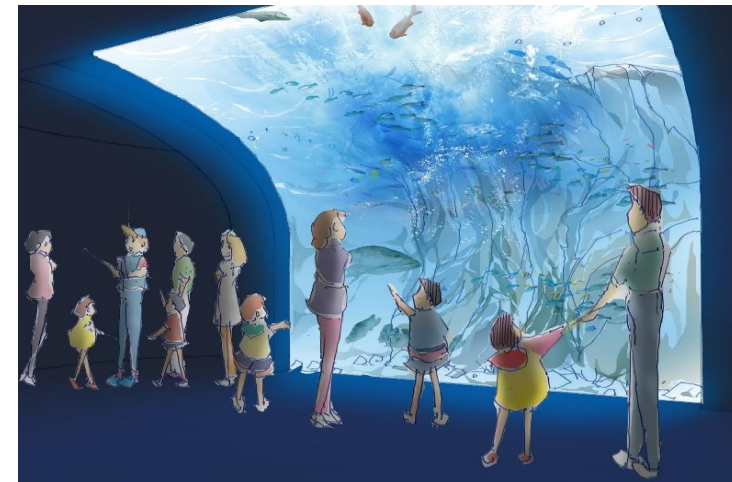
● 訪日外国人旅行者をターゲットとした商品・サービスの充実

- ・ バスツアーなどの商品開発・販売強化
- ・ 福岡三越へ空港型免税店の出店(2016年4月予定)

● 海外へ向けた積極的なプロモーション強化

- ・ 福岡および九州の魅力を伝える情報発信
(地方公共団体やJTBとの連携)

マリンワールド 新設水槽イメージ



(7) 新規事業機会の獲得

● PPP・PFI事業への参画

- ・ マリンワールド海の中道改修・運営事業の選定事業候補者に決定(2015年7月)、
特別目的会社「マリンワールドPFI株式会社」の設立(2015年10月)
- ・ 福岡市立中央児童会館等建替え整備事業の推進(2016年4月開業予定)
- ・ 水上公園整備・管理運営事業の推進(2016年7月開業予定)
- ・ 福岡空港民間委託に向けた検討

重点テーマ

2. チャレンジとスピードある経営の推進

(1) グループの事業・機能の再整備

- **タクシー4会社の体制強化**
(西鉄タクシーホールディングス株式会社の設立)

(2) 新企業メッセージの浸透・実践

(3) スピードある経営の推進

3. CSR経営の推進

(1) 運輸安全マネジメントの前進

- **飲酒運転撲滅に関する取り組みの強化**

(2) リスク管理の体制整備・法改正への対応

- **内部統制の強化(コンプライアンスの徹底)**
- **海外における事業リスクへの対応(人材の確保・育成、法制度・商慣習への対応など)**

(3) 建物安全・食品安全マネジメントの推進

4. グループの未来を創る人材の育成

(1) 西鉄グループ人材育成方針に沿った取り組み

(2) 女性活躍推進

(3) 従業員間のコミュニケーション向上



2016年3月期 設備投資計画

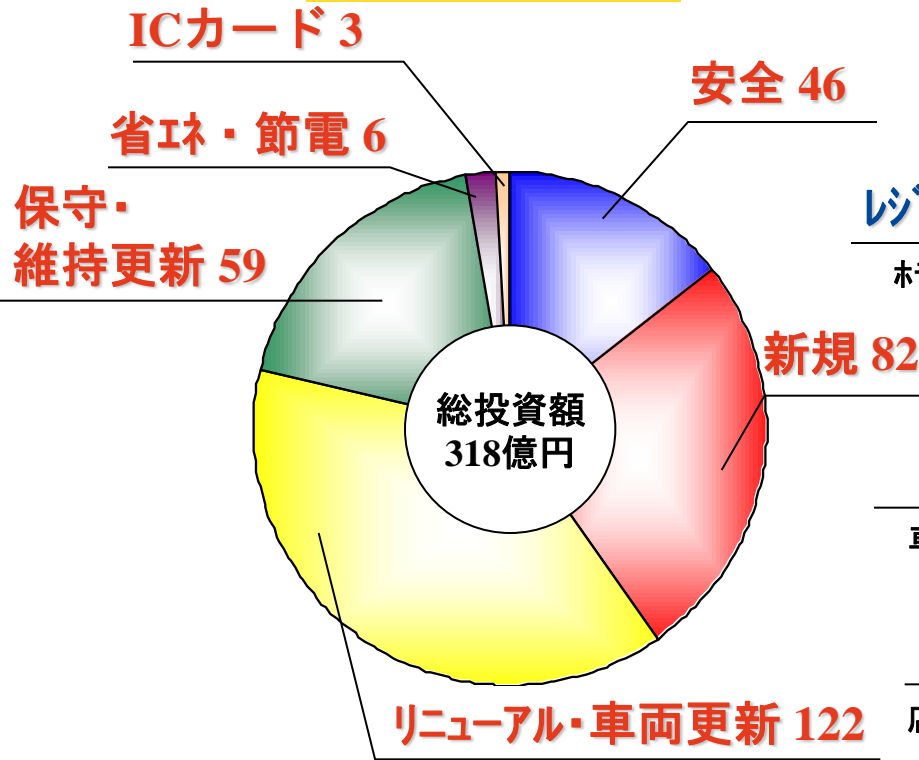
まさに、夢を描こう。



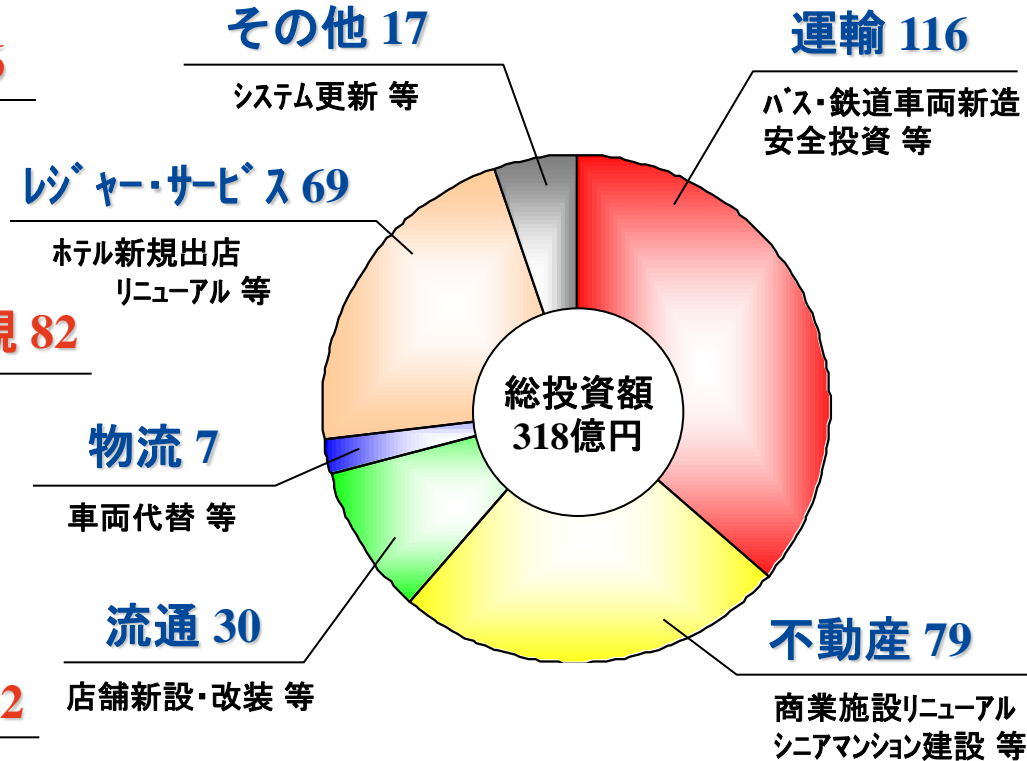
(単位:億円)

設備投資総額 **318億円**

投資種別の内訳



セグメント別の内訳



年度	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3計画
総投資額	186億円	186億円	348億円	349億円	318億円

まちに、夢を描こう。



2016年3月期 収支予想

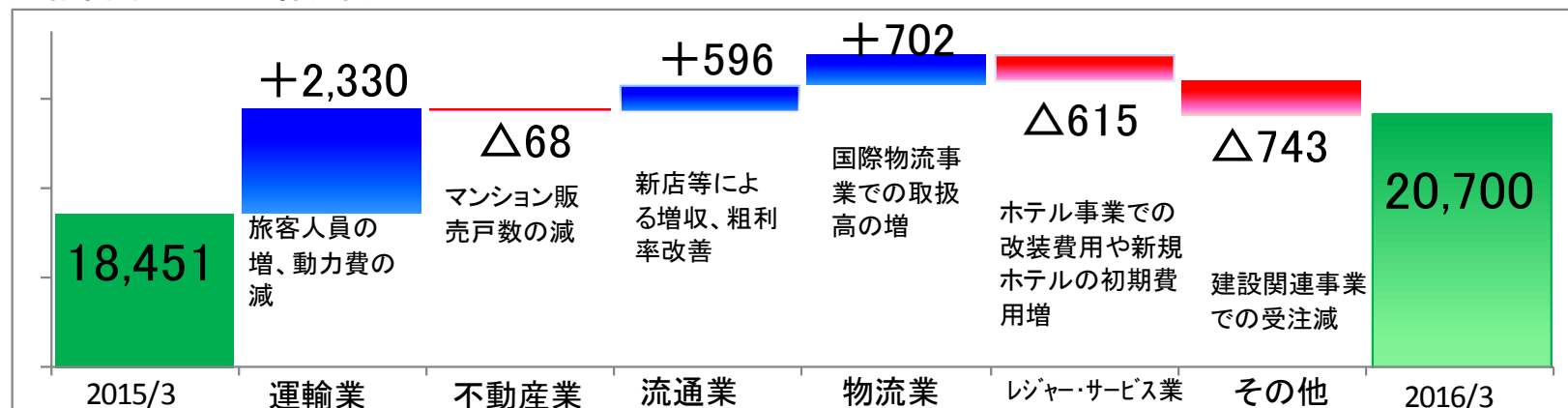
2016年3月期 連結収支予想

(百万円)

	2016/3 (予想)	2015/3 (実績)	増減	増減率
営業収益	362,600	363,523	△923	△0.3%
営業利益	20,700	18,451	2,248	12.2%
経常利益	19,500	18,135	1,364	7.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,400	10,374	2,025	19.5%
減価償却費	18,864	19,118	△254	△1.3%
EBITDA	39,689	37,760	1,929	5.1%
設備投資	31,784	34,931	△3,146	△9.0%

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

連結営業利益の増減要因



2016年3月期 セグメント別収支予想

		2016/3 (予想)	2015/3 (実績)	増減額	営業利益の増減要因
運 輸 業	営業収益	85,700	83,770	1,929	● バス事業の増益 (旅客人員の増、動力費の減 等)
	営業利益	6,500	4,169	2,330	
不 動 産 業	営業収益	55,600	58,288	△2,688	● 住宅事業の減益 (マンション販売戸数の減 等)
	営業利益	9,200	9,268	△68	
流 通 業	営業収益	81,000	79,297	1,702	● ストア事業の増益 (新店等による増収、粗利率改善 等)
	営業利益	900	303	596	
物 流 業	営業収益	89,800	89,001	798	● 国際物流事業の増益 (取扱高の増)
	営業利益	2,900	2,197	702	
レジャー・サービス業	営業収益	38,600	38,301	298	● ホテル事業の減益 外 (改装費用、新規ホテルの初期費用増 等)
	営業利益	1,000	1,615	△615	
そ の 他	営業収益	48,500	52,561	△4,061	● 建設関連事業の減益 (受注減)
	営業利益	900	1,643	△743	

<参考> 2016年3月期 セグメント別予想(減価償却費・EBITDA・設備投資)

(百万円)

		2016/3 (予想)	2015/3 (実績)	増減額
運 輸 業	減 価 償 却 費	8,675	8,597	77
	E B I T D A	15,175	12,766	2,408
	設 備 投 資	11,552	11,811	△259
不 動 産 業	減 価 償 却 費	5,981	6,015	△35
	E B I T D A	15,250	15,417	△166
	設 備 投 資	7,923	9,573	△1,649
流 通 業	減 価 償 却 費	1,279	1,302	△23
	E B I T D A	2,227	1,653	573
	設 備 投 資	3,044	3,656	△611
物 流 業	減 価 償 却 費	756	859	△103
	E B I T D A	3,656	3,058	597
	設 備 投 資	733	870	△137
レジャー・サービス業	減 価 償 却 費	1,848	1,987	△139
	E B I T D A	2,855	3,611	△755
	設 備 投 資	6,852	8,606	△1,754
そ の 他	減 価 償 却 費	933	963	△30
	E B I T D A	1,833	2,606	△773
	設 備 投 資	1,678	1,209	468

<参考> 2016年3月期 主なサブセグメント収支予想

(百万円)

			2016/3 (予想)	2015/3 (実績)	増減額
運輸業	鉄道事業	営業収益	22,364	22,204	159
		営業利益	3,060	2,870	190
	バス事業	営業収益	62,872	61,825	1,047
		営業利益	3,211	1,274	1,937
不動産業	賃貸事業	営業収益	27,053	27,941	△887
		営業利益	6,451	6,404	46
	住宅事業	営業収益	20,133	22,314	△2,181
		営業利益	2,096	2,370	△274
物流業	国際物流事業	営業収益	90,266	89,350	915
		営業利益	2,627	1,877	750
サービス業 レジャー	ホテル事業	営業収益	21,904	21,562	342
		営業利益	773	1,130	△356
	旅行事業	営業収益	3,889	4,054	△165
		営業利益	172	203	△31

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

※ 営業収益、営業利益は単純集計であり、内部取引の消去は行っていません。 <参考> 2016年3月期主なサブセグメント収支予想

まちに、夢を描こう。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。